令和３年　５月 25 日
九 州 地 方 整 備 局
大分河川国道事務所

大分川・大野川の堤防決壊シミュレーション動画を制作しました

近年、自然災害の頻発、激甚化により各地で災害が発生している中、国土交通省では「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を転換し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」の実現を目指し、同様の被害を二度と繰り返さない抜本的な対策が今求められています。

また、令和元年東日本台風では、東北、関東、北陸の国、県管理区間において140箇所の堤防決壊が発生し、甚大な被害が発生しています。

令和２年７月豪雨では、熊本県の球磨川が氾濫し、62名の死者・行方不明者、また堤防決壊、国道・県道・橋梁の流出、大規模な家屋被害も発生しました。

大野川においては平成29年台風18号、また大分川でも令和２年７月豪雨で既往最高水位を記録し、堤防決壊には至らなかったものの、各地で外水・内水氾濫が発生しています。

過去の堤防決壊は、大分川が昭和28年西日本大水害、大野川は昭和18年台風26号で発生していますが、その後幸いなことに堤防決壊に至るような洪水は発生していません。

大分河川国道事務所では、避難指示時等に住民避難行動に結びつく災害情報の提供として、堤防決壊動画を制作し、以下のとおり報道機関へ公開しますので、お知らせします。

堤防決壊動画は６月２日に大分河川国道事務所ホームページでも公開予定です。

なお決壊箇所は、洪水が発生した場合に、この場所が再度決壊するとのことではありません。

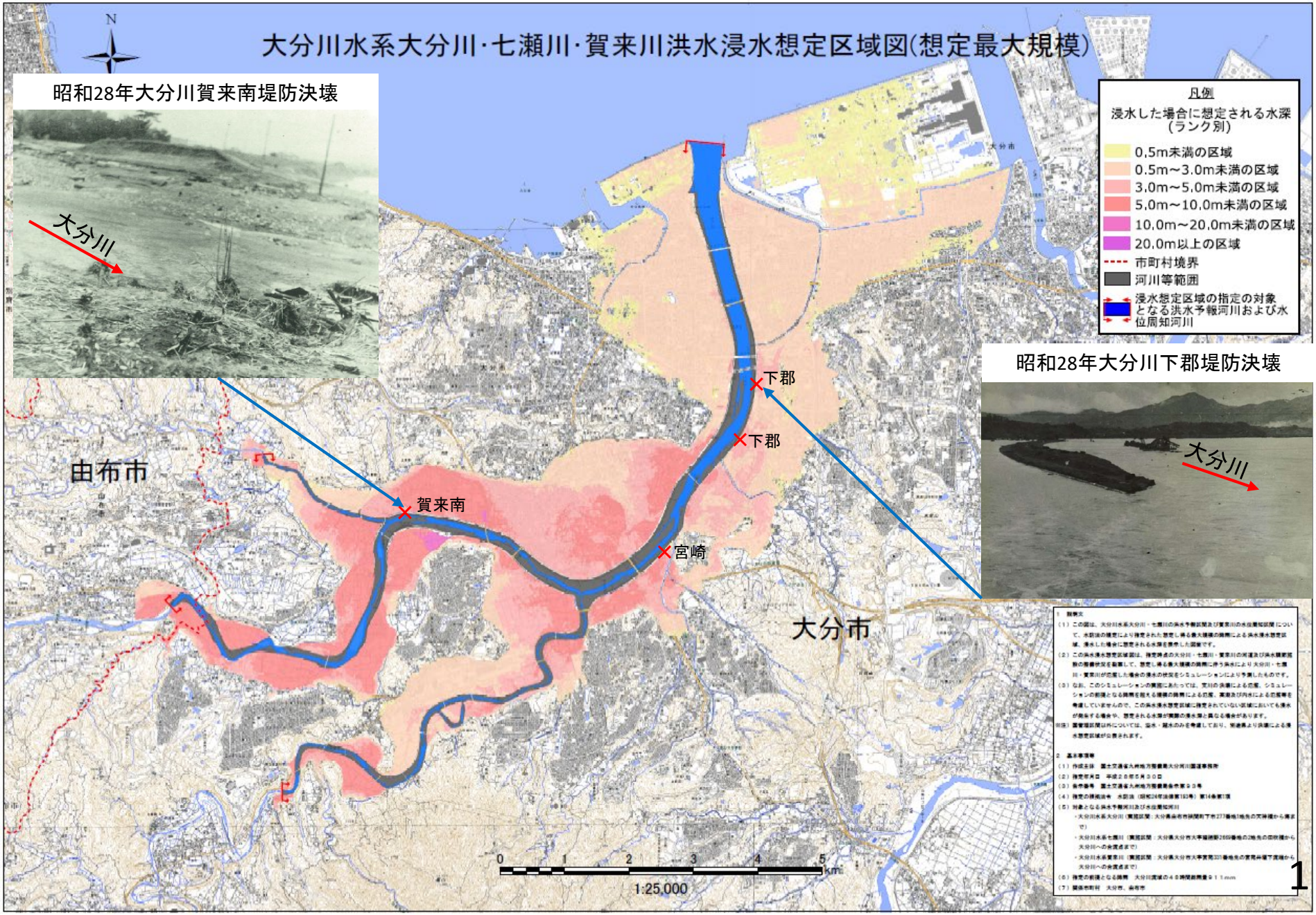
想定し得る最大クラスの洪水（L2洪水）が発生し、過去に決壊した箇所において、堤防決壊後の氾濫拡散状況をシミュレーションしています。

１．日時　令和３年６月２日（水）１１：００～
２．場所　大分河川国道事務所別館第１、２会議室
３．内容　大分川・大野川堤防決壊シミュレーション動画説明

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、開催方法、内容を変更する場合があります。
取材にあたっては、別紙を確認願います。

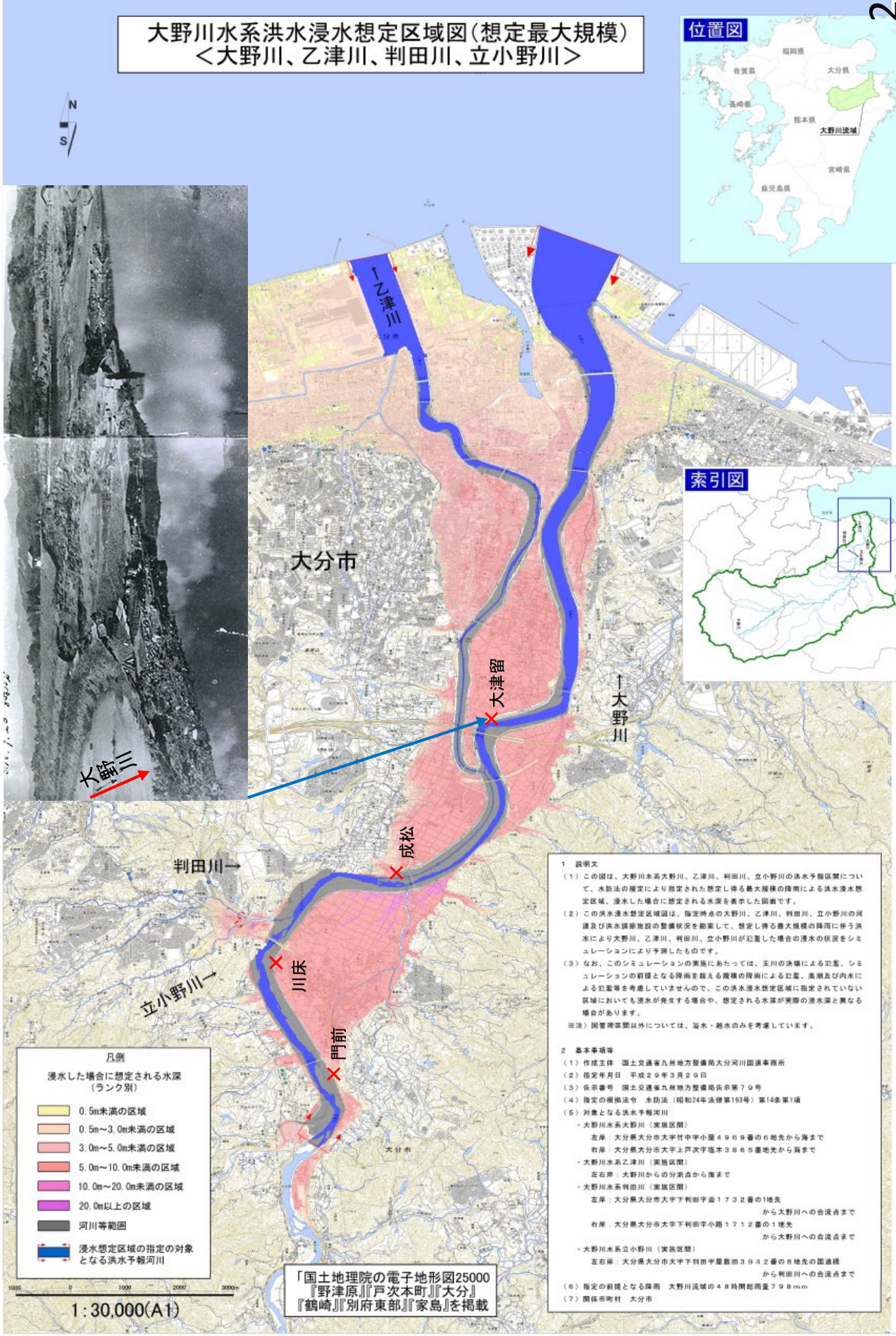
問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所
副所長（河川）　猪原　浩二
調査第一課長　小野　富生
代表　０９７－５４４－４１６７
大分市西大道１丁目１番71号
大分河川国道事務所ホームページ：http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/
大分河川国道事務所Twitter：https://twitter.com/mlit_oita

大分川水系大分川･七瀬川･賀来川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



大野川水系洪水浸水想定区域図（想定最大規模）
＜大野川、乙津川、判田川、立小野川＞

昭和18年大野川大津留堤防決壊



1　説明文

（1）この図は、大野川水系大野川、乙津川、判田川、立小野川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の大野川、乙津川、判田川、立小野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により大野川、乙津川、判田川、立小野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※注）国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。

2　基本事項等

（1）作成主体　国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所

（2）指定年月日　平成２９年３月２９日

（3）告示番号　国土交通省九州地方整備局告示第７９号

（4）指定の根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項

（5）対象となる洪水予報河川

・大野川水系大野川（実施区間）

左岸：大分県大分市大字竹中字小屋４９６９番の６地先から海まで

右岸：大分県大分市大字上戸次字塩木３８６５番地先から海まで

・大野川水系乙津川（実施区間）

左右岸：大野川からの分派点から海まで

・大野川水系判田川（実施区間）

左岸：大分県大分市大字下判田字迫１７３２番の1地先から大野川への合流点まで

右岸：大分県大分市大字下判田字小路１７１２番の１地先から大野川への合流点まで

・大野川水系立小野川（実施区間）

左右岸：大分県大分市大字下判田字屋敷田３９４２番の８地先の国道橋から判田川への合流点まで

（6）指定の前提となる降雨　大野川流域の４８時間総雨量７９８mm

（7）関係市町村　大分市

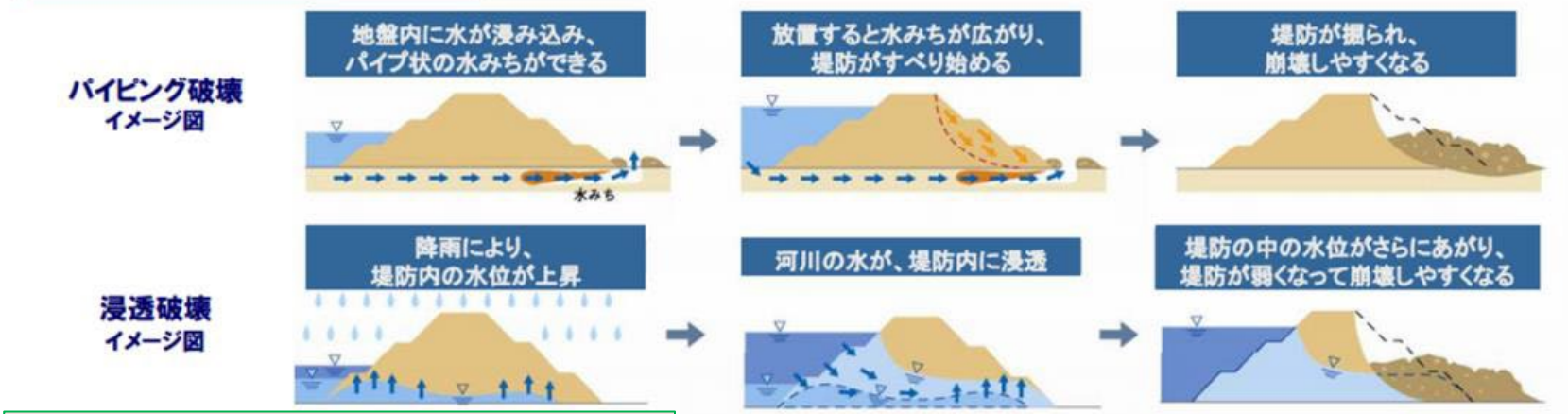
大分川 賀来南堤防が決壊した場合をシミュレーション

大野川 大津留堤防が決壊した場合をシミュレーション

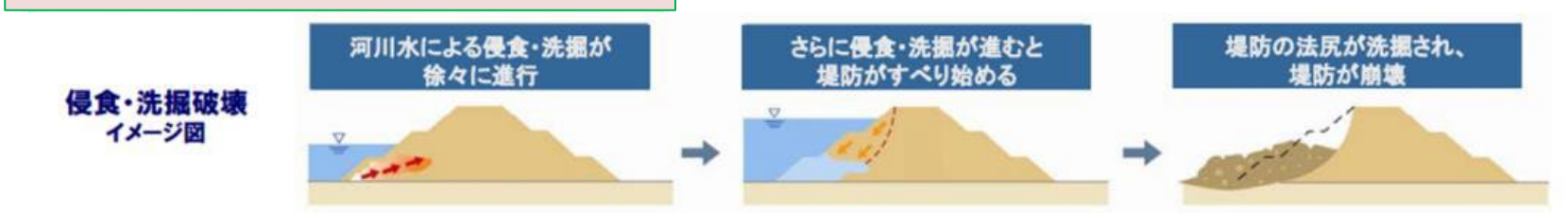
堤防決壊のメカニズム

洪水による堤防の決壊には、①浸透による堤防決壊、②浸食・洗掘による堤防決壊、③越水による堤防決壊の3つに大別される。

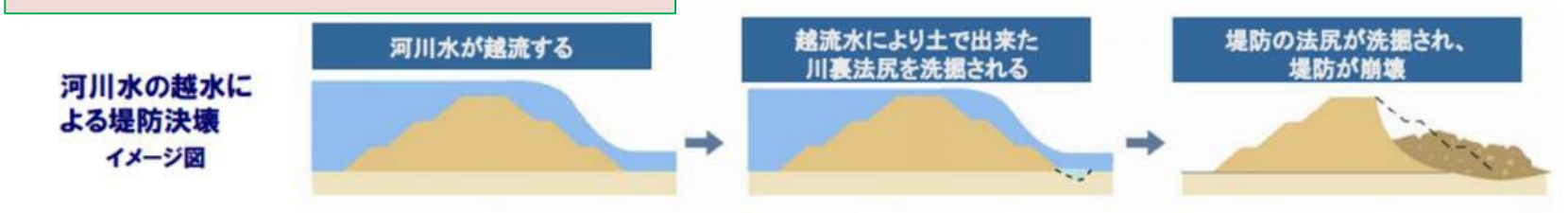
①浸透による堤防決壊



②浸食・洗掘による堤防決壊



③越水による堤防決壊



別　紙

○新型コロナウィルス感染防止対策へのご協力のお願い

取材にあたり、新型コロナウィルスの感染防止対策として、以下の 内容について、ご協力をお願いします。

１．当日、発熱がある場合や具合が悪い場合には、取材を控えて頂きますようお願いします。

２．会場にお越しになられましたら、速やかに受付にて、参加者ごとに「所属・氏名・連絡先」のご記入をお願いします。

３．受付時の検温及び消毒液による手指消毒にご協力をお願いします。検温の結果、取材をご遠慮頂く場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

４．開催日（6月2日）から過去２週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をされた方は、取材を控えて頂きますようお願いします。

５．集団感染を防ぐため、取材スタッフは最小限の人数でお願いするとともに、会場においては「３密回避」など感染症拡大防止にご配慮ください。

６．飛沫感染防止のため、来場時にはマスク等の着用にご協力をお願いします。

７．参加後に、発熱などの症状が出ましたら、必ず担当者までご連絡をお願いします。

＜担当者＞
国土交通省　九州地方整備局　大分河川国道事務所　調査第一課

課長　　小野　富生
専門官　　山口　健治（　電話：097-546-1474）